

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公開番号】特開2001-345174(P2001-345174A)

【公開日】平成13年12月14日(2001.12.14)

【出願番号】特願2001-87851(P2001-87851)

【国際特許分類】

H 05 B 33/04 (2006.01)

H 05 B 33/10 (2006.01)

H 01 L 51/50 (2006.01)

【F I】

H 05 B 33/04

H 05 B 33/10

H 05 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】自発光装置の作製方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

陽極、EL層及び陰極からなるEL素子を有する自発光装置の作製方法であって、

前記EL素子を覆う無機材料からなる膜をCVD法または蒸着法により形成し、

前記無機材料からなる膜を覆う有機材料からなる膜を形成し、

前記EL層及び前記有機材料からなる膜をインクジェット法または電界塗布法により形成することを特徴とする自発光装置の作製方法。

【請求項2】

陽極、EL層及び陰極からなるEL素子を有する自発光装置の作製方法であって、

前記EL素子を覆う有機材料からなる膜を形成し、

前記有機材料からなる膜を覆う無機材料からなる膜をCVD法または蒸着法により形成し、

前記EL層及び前記有機材料からなる膜をインクジェット法または電界塗布法により形成することを特徴とする自発光装置の作製方法。

【請求項3】

請求項1または請求項2において、

前記EL層、前記陰極、前記無機材料からなる膜及び前記有機材料からなる膜を同一の成膜装置で形成することを特徴とする自発光装置の作製方法。